

# 令和6年度 上半期活動報告

西部地区まちづくりセンター

## 西部地区ふるさとウォーキング

6月1日（土）西部地区ふるさとウォーキングが開催されました。



今回のテーマは「のんびり歩く野鳥観察」ということで、西部地区公民館から西向地区周辺の道2km程度の短い距離を鳥を探しながらゆっくりと歩きました。

ウォーキング中は時折立ち止まり、鳥の声を聞いたり姿を探したりして、出発前に習った鳥の見つけ方のコツや、双眼鏡の使いかたをそれぞれ実践してみました。

## 手ノ子小学校との交流会

手ノ子小学校との交流事業として地区の高齢者教室ふるさと学園や、婦人教室さわやかクラブが、小学校の放課後活動に参加して、小学生と交流しています。

5月7日（火）は小学生が西部地区公民館に来て、公民館職員とモルックをやってみました。



公民館職員と、たまたま公民館に来ていた地区の方や中学生も飛び入り参加してもらい、モルックに挑戦しました。みんな初めての体験で、みんなモルックを投げますが最初はなかなか当たらず点数が取れませんが、それでも段々繰り返すうちにコツを覚えて、点数を取れるようになりました。限られた時間のなかで手ノ子小の皆さんと楽しく交流ができ、元気の源ができた一日でした。

6月19日（水）婦人教室さわやかクラブの皆さんと、「方言クイズ」で楽しみました。



最近では共通語で話す機会が多くなり、子供たちが日常で方言に触れる機会が減ってきました。地域に根付いた言葉に子どもたちにも触れてもらいたいということで、今回は方言の意味をチームごとに考えて当てる方言クイズをしました。

低学年の子は「方言」が何なのかイメージがなかったようですが、今回をきっかけに方言がどんなものか分かってもらえたようです。

7月17日（水）、婦人教室さわやかクラブとの交流会で、一緒に紙芝居を鑑賞しました。



紙芝居を演じてくれたのは山形紙芝居研究会の中村春美さんです。前回の交流会で方言クイズをしたので、今回の紙芝居でも地元の方言が入った紙芝居を演じてもらいました。

中村さんが制作した紙芝居作品を含め、3つのお話を演じてもらいました。

お話のほか、自身の紙芝居に対する思いなどを語ってくれ、話を作り、絵を描き、読み込んで演じる所まで取り組む紙芝居の奥深さに触れることができました。

9月11日、地区の高齢者教室ふるさと学園の皆さんとグランドゴルフ交流会が行われました。



ふるさと学園の皆さんと一緒に、先生・父兄の方と職場体験に訪れていた飯豊中学生2名も一緒に参加しました。

はじめて体験する1年生はふるさと学園の皆さんに手取り足取り教えてもらいながらのプレーでしたが、上の学年の子は昨年より上手くなっていて、大人たちのスコアにも負けない健闘ぶりでした。来年のゴルフ交流でも皆の成長が見られるのが楽しみです。

## 西部地区育成会（天文教室&ピザづくり）

7月20日（土）、西部地区育成会のイベントがあり、天文教室とピザづくりをしました。



今回の天文教室は、いいで天文台天文研究会★ペルセの皆さんをお招きして開催しました。自分で作った望遠鏡で月や星を観察することを目標とし、夕方から高学年の子は説明書を見ながら、低学年の子は親子で協力して、望遠鏡を組み立てました。星の観察までの間、子供たちは自分の好きな具材をトッピングしてピザを作り、段ボールピザ窯で焼き上げ、美味しくいただきました。月が出るころにはあたりがちょうど暗くなってきて、自分たちの望遠鏡をのぞいて月を観察しました。星座の実物を見れたことも、子供たちにとって大きな体験になったようです。

最後に

日頃より、公民館・まちづくり事業に対してご理解とご協力を賜り、感謝いたします。少子高齢化の中で古いものと新しいものを融合させ、地域の魅力や文化等を後世に残していけたらと思います。更なる魅力ある地域づくりに取り組んでまいりますので今後ともよろしく願いいたします。